

『【新レベル表対応版】QC検定受検テキスト2級』正誤表
第1刷～第14刷

No.	頁	行 箇所	誤	正		
1	33	表 3.1 課題達成型	課題達成型	異なる点	課題達成型	異なる点
			テーマの選定		テーマの選定	
			攻め所と目標 の設定	*	攻め所と目標 の設定	*
			活動計画の作成		方策の立案	*
			方策の立案	*	成功シナリオ の追究	*
			成功シナリオ の追究と実施	*	成功シナリオ の実施	*
2	90~96 111	該当箇所	工業標準, 工業標準化, 日本工業規格 (JIS)	産業標準, 産業標準化, 日本産業規格 (JIS) ※名称が変更されたため修正		
3	93	該当箇所	鈹工業品	鈹工業品およびデータ, サービス, 経 営管理		
4	93	下 3行目	一定水準の品質、性能を有する鈹工業 品を安定して製造することが可能な 技術的能力を有する工場に対して, JIS マークの表示を認定する制度	一定水準の品質、性能を有する鈹工業 品等を安定して提供することが可能な 技術的能力を有する事業者に対して, JIS マークの表示を認定する制度		
5	94	2)試験所 登録制度	全体を右欄の文章に差し替え	2) 試験所登録制度(JNLA) 試験所登録制度 (Japan National Laboratory Accreditation system, 略称 JNLA)とは, 産業標準化法に基 づき, 国際的な試験所に対する基 準である ISO/IEC 17025 :		

				<p>2017(JIS Q 17025:2018「試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項」)に適合する試験事業者を登録し、この登録試験事業者は、該当する JIS に基づく試験を行ったとき、その証明書に JNLA の標章(シンボル)を付することができる制度であり、試験成績書の信頼性の確保を図ろうというものである。</p> <p>登録は、試験事業者の試験所ごとに行われ、審査は、試験事業者の試験所の管理体制、要員、試験機器、試験方法等が適切であるかどうかについて、該当 JIS ごとに審査し、すべての基準に適合することによって登録される。</p> <p>登録試験事業者は、少なくとも4年に1度の更新審査に加えて、必要に応じて立入検査が行われる。なお、経済産業大臣が主務大臣の場合、JNLA 制度は独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)が、審査、登録などを実施している。</p>
6	104	表 5.5 見出し	主旨	説明
7	104	表 5.5 出典	JIS Q 9001	JIS Q 9000
8	105	下 2行目	図 5.3 および	表 5.7 および
9	105	下 1行目	図 5.4 に示す。	図 5.3 に示す。
10	106	図表キャ プション	図 5.3	表 5.7

11	107	図表キャ プション	図 5.4	図 5.3
12	107	下 7行目	表 5.7 に示す	表 5.8 に示す
13	108	図表キャ プション	表 5.7	表 5.8
14	108	下 4行目	図 5.5 に示す	図 5.4 に示す
15	109	図表キャ プション	図 5.5	図 5.4
16	168	下 7行目	ともに $25V(X) + 16V(Y)$ とな り,	ともに $16V(X) + 25V(Y)$ とな り,
17	179	上 4行目	$\mu = (y - \mu_0) / \sigma_x$	$u = (y - \mu_0) \sigma_x$
18	188	表 11.2 上 3行目	母分散 σ^2 が既知	—
19	205	上 11行目	$p \pm u(0.05) \sqrt{\frac{n(1-p)}{n}}$	$p \pm u(0.05) \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$
20	207	上 5行目	$= -0.0184, 0.0060$	$= -0.0184, 0.0059$
21	208	上 4行目	$R: u_0 \leq -u(2\alpha)$ $= u(0, 0.10) = 1.645$	$R: u_0 \leq -u(2\alpha)$ $= -u(0, 0.10) = -1.645$
22	207	上 3行目	$(p_A - p_B) \pm u(0.05)$ $= \sqrt{\frac{p_A(1-p_A)}{n_A} + \frac{p_B(1-p_B)}{n_B}}$	$(p_A - p_B)$ $\pm u(0.05) \sqrt{\frac{p_A(1-p_A)}{n_A} + \frac{p_B(1-p_B)}{n_B}}$ ※ = を削除
23	211	上 5行目	$\chi^2(\varphi, a)$	$\chi^2(\varphi, \alpha)$

<p>24</p>	<p>223</p>	<p>図 12.3 (上図が誤 下図が正)</p>	<p>図 12.3 管理図選定のための流れ図</p> <p>この図は、計量値と計数値の両方に対する管理図選定のフローを示しています。計量値の場合、群の数が1個、2-6個、7個以上で、それぞれ異なる管理図が推奨されています。計数値の場合、不良数か欠点数かによって、群の大きさが一定か一定でないかに応じて、p、np、u、c管理図が選ばれます。</p>																				
<p>25</p>	<p>226</p>	<p>上 13行目</p>	$\sqrt{\frac{\dots + 20.5^2 + \frac{204.5^2}{10}}{10 - 1}}$ $\sqrt{\frac{\dots + 20.5^2 - \frac{204.5^2}{10}}{10 - 1}}$																				
<p>26</p>	<p>231</p>	<p>表 12.4 \bar{X}管理図</p>	<p>\bar{X}管理図のA₃列を削除</p>																				
<p>27</p>	<p>231</p>	<p>表 12.4 R管理図</p>	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th>n</th><th>D₂</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>7</td><td>5.469</td></tr> <tr><td>8</td><td>5.394</td></tr> <tr><td>9</td><td>5.307</td></tr> <tr><td>10</td><td>5.203</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>n</th><th>D₂</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>7</td><td>5.203</td></tr> <tr><td>8</td><td>5.307</td></tr> <tr><td>9</td><td>5.394</td></tr> <tr><td>10</td><td>5.469</td></tr> </tbody> </table>	n	D ₂	7	5.469	8	5.394	9	5.307	10	5.203	n	D ₂	7	5.203	8	5.307	9	5.394	10	5.469
n	D ₂																						
7	5.469																						
8	5.394																						
9	5.307																						
10	5.203																						
n	D ₂																						
7	5.203																						
8	5.307																						
9	5.394																						
10	5.469																						
<p>28</p>	<p>237</p>	<p>下 10行目</p>	$LCL = n\bar{p} + 3\sqrt{n\bar{p}(1 - \bar{p})}$ $LCL = n\bar{p} - 3\sqrt{n\bar{p}(1 - \bar{p})}$																				
<p>29</p>	<p>246</p>	<p>上 6行目</p>	<p>(注)JIS Z 9021:1998～ 注を削除</p>																				
<p>30</p>	<p>262</p>	<p>下 11行目</p>	<p>下限合格判定値$\bar{X}_L = m_0 + G_0\sigma$ 下限合格判定値$\bar{X}_L = m_0 - G_0\sigma$</p>																				
<p>31</p>	<p>302</p>	<p>上</p>	<p>r=0912 r=0.912</p>																				

2022年12月27日

32	339	8行目 付表3 (3, 0.95)	0.325	0.352
----	-----	-------------------------	-------	-------